

2024年10月21日

報道関係者各位

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

## 奈良先端科学技術大学院大学 データ駆動型サイエンス創造センターと物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センターはデータ駆動型研究推進に向けた連携・協力協定を結びました

### 【概要】

奈良先端科学技術大学院大学（学長：塩崎一裕）データ駆動型サイエンス創造センター（センター長：船津公人）と物質・材料研究機構（理事長：宝野和博）高分子・バイオ材料研究センター（センター長：竹内正之）はデータ駆動型研究推進に向けた連携・協力協定を結びました。両者は互恵の精神に基づき、相互に有する基盤施設や技術、人材を活かすことにより、本分野に関連する人材の育成と交流を活性化し、我が国の科学技術、産業技術の振興と研究の発展に寄与することを目的とします。

### ◆奈良先端科学技術大学院大学 データ駆動型サイエンス創造センターの特色

データ駆動型サイエンスに特化したセンターとしてデータサイエンス部門、バイオインフォマティクス部門、マテリアルズ・インフォマティクス部門、国際教育研究連携部門、リサーチトランスフォーメーション実装部門から成り、本務教員、兼務教員など合わせて約40名の教職員を擁しています。分野を超えた多様性が、最先端のデータ駆動型研究の原動力となり、異なる視点・アイデア・アプローチが結集し、日々、新発見や新技術が生まれています。このような特色と強みにより、文部科学省から概算要求・教育研究組織改革事業の採択を受け、令和5年度より、「リサーチトランスフォーメーション（RX）プラットフォームの構築事業」を推進しています。

### ◆物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センターの特色

物質・材料研究機構（NIMS）高分子・バイオ材料研究センターは、革新的な高分子材料およびバイオ材料の創製を目指し、持続可能な社会の実現に向けてソフト・ポリマー材料とWell-Being社会を支えるバイオ材料の研究・開発を推進しています。高分子・バイオ材料研究センターでは、データ科学を研究基盤として積極的に取り入れ、材料開発の実践に活かすことを重視しています。特に、NIMSが所管する世界最大の高分子データベース「PoLyInfo」や独自に設計したハイスループット実験装置、計算科学、機械学習などのデータ解析技術を駆使することで、高分子分野におけるデータ駆動型研究を強力に推進しています。

このたび、世界最高水準のデータ駆動型研究拠点を目指す奈良先端科学技術大学院大学 データ駆動型サイエンス創造センターと物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センターの連携により、以下のような相乗効果が期待されます。

- データ駆動型研究推進に向けた人材交流の強化と推進
- 組織交流による科学技術情報の交換
- データ駆動型研究推進に向けたセミナー、ワークショップ等の共同開催
- 共同研究の相互提案の推進

本件につきまして、下記のとおり協定調印式を執り行いました。

## 記

### 【調印式概要】

- ◆日時 2024年10月8日(火)14時00分～14時30分
- ◆場所 物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センター センター長室
- ◆出席者 奈良先端科学技術大学院大学 データ駆動型サイエンス創造センター  
センター長 船津 公人  
教授 藤井 幹也  
委託教員 野島 秀雄  
物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センター  
センター長 竹内 正之  
副センター長兼高分子材料分野分野長 内藤 昌信



左：物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センター 竹内正之センター長

右：奈良先端科学技術大学院大学 データ駆動型サイエンス創造センター 船津公人センター長

### 【お問い合わせ先】

<内容に関すること>

奈良先端科学技術大学院大学 データ駆動型サイエンス創造センター

TEL : 0743-72-6056 E-mail : dsc-info@dsc.naist.jp

<報道に関すること>

奈良先端科学技術大学院大学 企画総務課 渉外企画係

TEL : 0743-72-5112 FAX : 0743-72-5011 E-mail : s-kikaku@ad.naist.jp